

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

スポーツ庁テーマ

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

京都府テーマ

- I スポーツへの誇り、自己肯定感の醸成
- II 障害者や高齢者への理解、共生社会の形成
- III スポーツへの関心や競技力向上、スポーツボランティアへの参画
- IV オリンピック・パラリンピックに向けた京都の伝統や文化等の発信
- V 国際理解教育の推進

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立綾部高等学校 】

<スポーツ庁テーマ> <京都府テーマ>

1 実践テーマ	【 III、IV、V 】	【 II、III、IV 】
2 実施対象者	1年生 278名（男子117名、女子161名） スポーツ総合専攻1～3年 121名（男子74名、女子47名） スポーツ総合専攻3年生 8名（男子6名、女子2名） 一般生徒（ボランティアバンク登録者）	
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（体育・スポーツ概論） ② 行事名（1年生対象人権教育） ③ その他（放課後での活動） (2) 地域における活動 ① イベント名（あやリンピック） ② その他（ ）	
4 目標 (ねらい)	パラリンピアンとの講話や車椅子体験、特別支援学校の生徒とのスポーツ交流により、障がいのある人への理解と共生社会を形成するための礎とする。 トップアスリートの講演を聴くことにより、スポーツへの関心・興味や競技力の向上を目指す心の育成。	
5 取組内容	(1) 「1年生対象講演会」(あすチャレ！スクール2018) 7月18日(水)に「あすチャレ！スクール2018」を開催。車椅子陸上で7回のパラリンピック出場の永尾嘉章氏を講師に、講話と車椅子体験(リレー)を実施した。 【生徒感想文】 ・諦めないことが1番大事なんだということが強く伝わってきました。自分はこうだから、これはできないとか、やる前から諦めていたら自分の成長に繋がらないと分かりました。今日の講演でDVDを見ていて、すごい人たちが沢山いました。自分も諦めずに生きることを心がけたいと思います。 ・話を聞くだけでなく、みんなで盛り上がり楽しむことができ良かったです。やる前から「無理」と諦めたり、弱音を吐いたりするのは、自分の成長を妨げることになると今回の話を聞いて感じました。できるか、できないかははからないけれど、できるところまでとことんやって見たいと思ったし、これからも諦めずに頑張りたいです。 ・自分もしんどい時や苦しい時があるけれど、「諦めないこと」を思い出して、自分自身に勝って自分の夢に向かっていきたいと思いました。今日の講演は、一生忘れられない経験になりました。	



(2) 「中丹支援学校の生徒達とのスポーツ交流」

10月12日(金)の放課後に中丹支援学校へ行かせてもらって障がい者スポーツである『卓球バレー』で交流を行った。本校生徒は初めて行うスポーツであり、中丹支援学校の生徒達に教えてもらいながら楽しく交流を行った。



(3) 「あやリンピックのボランティア」

10月28日(日)に綾部市市民センターで、年齢・性別・障がいの有無にかかわらず、誰でも参加できるスポーツの祭典「あやリンピック」が開催され、本校8名の生徒がボランティアとして参加し、一緒に競技をしたり、進行の手伝いをしながら、参加者と交流を深めた。



(4) 「オリ・パラ講演会」

1月25日(金)に元阪神タイガースの田上健一氏を迎え、「トップアスリートとサポートの考え方」と題してスポーツ総合専攻1～3年生に講演をいただいた。

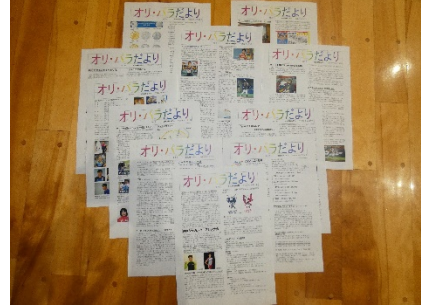
【生徒感想文】

今日、田上さんの話を聞いて、今自分はチームの最高学年としてバレーボールをしています。その中で、自分の中で向上心を持ち続けることはもちろん、チームとしても向上心を持ち続けていきたいと思

ました。そして、他の人と違う何かをするために、エースとしてどんな時にもポジティブに前を向き、自分に厳しく追い込んで行きたいと思いました。ラスト 1 年でこれから先苦勞することもたくさん起こってくると思いますが、その 1 つ 1 つを苦しいこと、辛いことと捉えずに自分が成長するための必要なことだと思って乗り越えていきたいです。自分が、今プレーをできているのは、支えてくれる人がいて、その人に感謝の気持ちを忘れてはいけないということをしっかり理解できました。仲間同士でもサポートをすることはあるし、その人が何を求めているのかと、人のことを考えられる人になりたいです。



講演会の様子



オリパラだより

(5)「オリパラだより」の発行
月に 1 回発行し、クラス掲示を行った。

	<p>ました。そして、他の人と違う何かをするために、エースとしてどんな時にもポジティブに前を向き、自分に厳しく追い込んで行きたいと思いました。ラスト 1 年でこれから先苦勞することもたくさん起こってくると思いますが、その 1 つ 1 つを苦しいこと、辛いことと捉えずに自分が成長するための必要なことだと思って乗り越えていきたいです。自分が、今プレーをできているのは、支えてくれる人がいて、その人に感謝の気持ちを忘れてはいけないということをしっかり理解できました。仲間同士でもサポートをすることはあるし、その人が何を求めているのかと、人のことを考えられる人になりたいです。</p> <p>講演会の様子</p> <p>オリパラだより</p> <p>(5)「オリパラだより」の発行 月に 1 回発行し、クラス掲示を行った。</p>
<p>6 主な成果</p>	<p>本年度は、「あすチャレ！スクール 2018」を開催し、車椅子の体験も行え、大変実りのある講演会ができた。生徒達は、特に講話の中の「諦めない」ということを自分のこととして捉え、これからの高校生活や将来の夢と結びつけて考えることができた。</p> <p>中丹支援学校とのスポーツ交流では、障がい者スポーツである「卓球バレー」を行うことができ、本校の生徒も一緒になって楽しく交流することができた。</p>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>講演会を本校の先生とのトークショー形式で行い、生徒にとってわかりやすいものになった。また、事前に生徒に質問事項をアンケートし、まとめて講師の先生に伝えていたので、スムーズな進行ができた。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>講演会の講師の選定に手間取り、開催が遅れてしまった。早くから動いてはいたのであるが、謝金との関係や日程の都合でうまくいかず今後の課題である。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>中丹支援学校とのスポーツ交流は定着してきたので、これからも継続してできればいいと考えている。</p> <p>オリンピック・パラリンピック教育により、多くの生徒が様々なことに対して自分のこととして捉え、考えて行動するようになってきたので、今後も工夫をしていろいろなことに取り組みせたいと思う。</p>